

## 「第2回スヌーズレン資格認定セミナー開催のお知らせ」

主催：ISNA 日本スヌーズレン-MSE® 研究・資格認定協会

●日 時: 2026 年 11 月 14 日(土) 12 時～18 時

11 月 15 日(日) 9 時～12 時、13 時～18 時 の 2 日間(計 14 時間)

●会 場: 仙台西多賀病院・療育指導室

〒982-0805 仙台市太白区鉤取本町2丁目11-11

独立行政法人 国立病院機構 仙台西多賀病院2階

●募集定員: 10 名

●参加申込み: 当協会のメールアドレス: [isna.snoezelen.japan.rqa@gmail.com](mailto:isna.snoezelen.japan.rqa@gmail.com) まで、住所・氏名・電話番号・所属・基礎資格・スヌーズレン実践歴(年数)、スヌーズレン資格認定セミナーに参加希望、と明記しお申し込み下さい。

●参加費: 30,000 円

当日会場の受付にてお支払い下さい。

2 日目の昼食は各自ご用意をお願いします。ゴミは各自持ち帰して下さい。

●受講資格: 基礎資格として、教員免許、保育士資格、作業療法士等の基礎資格を取得済または取得見込みであること。事前のスヌーズレン研修会に 2 回(6 時間)以上参加していること。

●資格授与条件: 合計 20 時間以上スヌーズレンの理論と実践に関するレクチャーを受講済である者に資格が授与されます。

●資格の認定: 本資格セミナーの合格者には、ISNA 日本スヌーズレン-MSE® 研究・資格認定協会理事長および ISNA Snoezelen Professionale.V.会長の両者が認定した「国際スヌーズレン支援士」(International Snoezelen Specialist: ISST)の資格認定証明書が授与されます。

●講 師: 姉崎 弘 (略歴)

九州女子大学・人間科学部児童・幼児教育学科 教授

ISNA 日本スヌーズレン-MSE® 研究・資格認定協会 理事長

ISNA 日本スヌーズレン総合研究所 終身名誉会長。

2008 年にドイツ・フンボルト大学リハビリテーション科学研究所客員研究員

(Prof.Dr.Krista Mertens に師事)。

現 ISNA 名誉会長の Prof.Dr.Krista Mertens より 2014 年に国際スヌーズレン専門支援士の資格を取得後、2025 年に国際スヌーズレン専門支援士スーパーバイザーを取得。

●2 日間の主な受講内容：

理論: スヌーズレン(MSE)の起こりと歴史的経緯

スヌーズレンの理論と思想

世界におけるスヌーズレンの発展過程

スヌーズレン実践のための脳科学の基礎的理解

実践: スヌーズレンルームの計画と安全対策

スヌーズレンの各種器材と用具

スヌーズレンの利用者と介助者(指導者)

スヌーズレンの実践例(学校・病院・施設等)と実際の体験

スヌーズレン実践の記録・評価の仕方

スヌーズレンの事前の実践レポートの発表と評価(反省点と次回に向けた改善策)

●講評・総括

●資格「国際スヌーズレン支援士」の授与・アンケート

共催：学術研究出版

## スヌーズレンの資格認定セミナー受講前の実践レポートの提出と発表用 パワーポイントの用意について

この実践レポートは、これまでご自身が主担当となって実施したスヌーズレンセッションの中から一つ取り上げてまとめて下さい。学生は、大学の授業で学んできた実践的な内容を総合して書いて下さい。

内容としては、介助者(指導者)氏名、単元(題材)名、目的、所用時間、実践の期間(○年○月～○年○月まで、計 10 回実施中の第 5 回目のセッションなど)、介助者(指導者)数、対象者数、対象者の障がい名や程度、主な使用器材・用具とその設置場所(写真か略図を付けて下さい)、使用したルーム(大体の部屋の広さ・間取り、40～50 分間のセッションの展開の仕方(指導者または介助者各自のそれぞれの主な役割も記す)、留意した事項、実践の成果、次回に向けた反省点や今後の課題、またできたら実践場面の写真を 1 枚付けて下さい(対象者の顔を撮らない配慮を)。

この実践レポートを A4 判(40 字×40 行)2.5 頁から 3～4 頁以内にまとめて下さい(写真や図表、文献を含む)。実践場面の部屋・対象者、介助者、器材等の位置関係がわかるような簡単な図、または写真(利用者の顔は特定できないように加工する)を付けて下さい。

なお、資格セミナーの 2 日目の午後に、発表用パワポの入った USB を持参し、各自の実践レポートの発表(20 分程度)をしてもらい、参加者による質疑、姉崎によるわかりやすい解説と講評を加えます。この実践レポートの提出と発表も評価の対象になります。

こうした研修活動を通して、スヌーズレンの実践を責任をもって実施できるようになってほしいと願っています。各自のスヌーズレンの実践力量(対象者の実態把握・目標設定・計画・準備・実践・評価と考察する力)を向上させることをねらいにしています。

●レポート提出締切日:2026 年 11 月 2 日(月)20 時まで、メール添付して下さい。

西多賀病院でセミナーを受講する方は、2026 年 11 月 2 日(月)までにメール添付で送付して下さい。

メール: [aneko.fight147@gmail.com](mailto:aneko.fight147@gmail.com)(姉崎あて)へ送付して下さい。

なお、発表用パワポは、当日までに準備をお願いします。